

令和3年度 第3回 学校運営協議会 まとめ

令和4年3月4日
大阪府立泉北高等支援学校

1 日時

令和4年1月28日（金）15時30分から17時00分の予定でしたが、新型コロナウイルスの感染拡大により、書面での開催としました。

2 協議内容

- ① 令和3年度学校経営計画及び学校評価について
- ② 令和4年度学校経営計画について
- ③ 学校教育自己診断アンケート結果について

3 意見等

- ① 令和3年度学校経営計画、学校評価について
 - ・情報モラルの育成について、回数はどれほど行っているか。
⇒SNSのトラブルやネット情報の偏りなどについて必要な生徒に対し、1回から9回実施した。
 - ・HRを活用した人権教育の実施について、様々な理解力を持つ子どもが集まる中でどのような内容を行っているか、保護者にもわかるよう、発信してもらいたい。
⇒相手に傷つけない言葉がけ、思いやり、いじめの問題など、生徒の状況を観察しつつ適した時期に人権教育を行っているが、その内容を連絡帳や学年だよりで発信したい。
 - ・堺市立中学校への地域支援の充実について一層の推進をお願いする。
⇒リーディングスタッフを中心に相談支援を行ってきている。地域のニーズに今後も応えていく。
- ② 令和4年度学校経営計画について
 - ・令和3年度から引き続き、よりよい学校づくりをめざしてほしい。
- ③ 学校教育自己診断アンケート結果について
 - ・キャリア教育につながる成果が数字に表れ、すばらしく思う。取り組みが深まることを期待する。
 - ・経験の浅い教員の育成について、仕掛け、仕組みが必要に思う。
⇒教科会で授業内容を高めあえるよう取り組むとともに、授業見学期間を1か月間設定し、異なる学年の授業を互いに見学しあい意見を述べる機会を設けている。
 - ・PTAに関して保護者負担にならないよう、先生方が動いてくださっている。「活発

に」という質問の内容がわからないのではないか。

⇒PTAの活動を「できる人が、できるときに、できることをする」とし、過剰な負担がかからないよう運営している。コロナ禍でもあり、保護者のみなさんが集まれる機会も少なく、活発な活動にはなりにくい現状である。

- ・いじめに関して、実際いじめがあってもわからないと感じている方が多いと思う。
- ・学校教育自己診断について、肯定率を上げることも一つの目標ではあるが、「わからない」「記入なし」の部分に注目することがいるのではと思う。生徒、保護者、教職員にとっていろんな意見が言える、それが否定的な意見であっても表明することができる心理的安全性が保障されている場であることが大事である。
 - ⇒「わからない」「記入なし」という意見の多かった項目については、例年同様に出ており、学校生活の様子を発信する、学校の活動方針や取り組みについて、保護者に発信していくことが一層必要と考える。
- ・個別の教育支援計画の引継ぎが100%なのは素晴らしいことと思う。学校や生活環境が大きく変わるときには引継ぎが重要である。
- ・「個別の支援計画を生徒・保護者と目標の共有に努める」に加え、生徒と保護者間の意見調整にも努めるという視点も必要だと思う。
- ・学校教育自己診断アンケートのいじめに関する結果、授業に対する結果について、生徒と保護者の学校に対するとらえ方に隔たりがあるように思える。
- ・コロナの情勢はいつ収束するかもわからないが、そのなかで生徒がより安全に教育を受けるためにICTを活用した研修、教育体制を進めていただきたい。
 - ⇒一人一台タブレット端末が導入されたが、まず使い方についてのルール作りや教員の研修からスタートさせている。
- ・学校教育自己診断アンケートで教職員の回収率が100%というのはすごいことだ。全体的な肯定率を気にする前に、どんなことでも言える環境が整ってきたということは評価される点である。言っても大丈夫だという職場環境が整ってきているのではないか。後は、出てきている問題に対して真摯に取り組むだけで、問題や課題は、その都度何か起こってくるものであり、なくなるということはないという視点も必要ではないか。
- ・人材育成について一度は崩壊したイギリスの児童保護制度の現在の根幹を担っているアイリーン・ムンロー氏が長年の調査、エヴィデンスから人間の学習方法について、①10%は形式的研修から学べる ②20%は相談や協働を通じて学ぶ(スーパービジョンやコンサルテーション) ③70%の学習は日々の仕事を通じて行われる
 - 重要な技術を実践する課題を監督指導して設定し、実践者に豊富な経験をさせるワークロードを管理して上記ができるようにする と述べられています。日々のコミュニケーションが非常に重要です。

4 会長まとめ

① 令和3年度学校経営計画および自己評価について

- ・職場実習先の開拓、個別の教育支援計画活用例のフィードバックなど、重要なポイントで成果が出ているように感じます。今年度も「概ね良好」と評価させていただきます。

② 令和4年度学校経営計画について

- ・詳細な経営計画について敬意を表します。目標を設定することはとても大切だと思います。教職員にとってもっとゆとりがあれば少しでも改善できるのではないのでしょうか。具体策が目標設定されてもよいのではないのでしょうか。

③ 学校教育自己診断アンケート結果について

- ・生徒の⑩交流、保護者の⑪PTA活動、⑫意見を聞く機会などはコロナ禍でやむを得ないこともあると感じています。
- ・教職員の⑬校種間連携、⑭校外研修の伝達、⑮授業方法の検討など、毎年のようにあげられていますが、根本は日々の多忙さにあります。教員定数の改善など、大きな課題もありますが、少しでも改善できるような策を校内で具体的に検討されてみてはいかがでしょうか。
- ・「地球環境について」少しでも生徒に考える機会を作っていくことが大切な課題ではないのでしょうか。

校長より

今年度の学校運営協議会にご協力賜りありがとうございました。

第3回は書面での開催となりましたが、ご多用の中にもかかわらず、委員の皆さまからは貴重なご意見をいただきました。今年度の総括をふまえて、組織として学校力を高め、より一層本校の教育活動を充実させてまいります。今後とも引き続きご支援を頂けますようお願い申し上げます。